

令和元年度 一関保健所事業の実施状況

保健課

○ 心と体の健康づくり

1 栄養改善事業

○ 特定給食施設等に対する立入指導等

ア 特定給食施設(特定多数人に対して1回50食以上、1日100食以上の給食提供施設)等従事者研修会(集団指導4回、170人)

イ 個別立入指導、利用者のための適正な栄養管理指導 61施設/85施設

ウ 保育園、幼稚園、学校等への減塩・適塩指導 20施設、食塩摂取適合率90.0%

2 健康づくり対策

○ 課題

岩手県脳卒中死亡率(H27) 男性：全国ワースト3位、女性：ワースト1位

両磐地域：男女の脳梗塞死亡率及び女性の脳出血死亡率が高い。

○ 取組みの経過

平成25年度から県南広域振興局(3保健所)が関係機関・団体と協力して「脱脳卒中宣言事業」に取組み、平成30年度からは「ストップ!生活習慣病事業」に拡大し事業を継続実施している。

(1) 地域・職域連携推進協議会(令和2年2月27日)

| | |
|------|---|
| 構成機関 | 一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、岩手看護協会、岩手県栄養士会、県南教育事務所、岩手労働基準協会一関支部、一関商工会議所、平泉商工会、岩手県予防医学協会県南センター、川嶋印刷(株)、全国保健協会岩手支部、食生活改善推進員両磐支部、一関市、平泉町、一関保健所 |
| 主な内容 | ○情報提供 子どもの肥満、企業対抗チャレンジマッチ、糖尿病腎症重症化予防、喫煙対策 ○ワーキング取組み報告 ○意見交換 |

(2) 各機関の自主的取組との連携による健康づくりの展開

一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、岩手県栄養士会、岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会両磐支部等

(3) 働き盛り年代を対象とした健康づくり出前講座の充実強化(24事業所、680人)

主なテーマ

生活習慣病予防、脳卒中予防、喫煙、感染症予防、こころの健康づくり

(4) 職域の健康づくりを推進するため健康経営セミナーの開催(令和元年9月11日、130人)

○ 対象 岩手労働基準協会一関支部会員

- 目的 働く人の健康増進や健康経営について推進を図る
- 内容 両磐地域の健康課題について
企業対抗チャレンジマッチに参加して
当社の健康経営に関する取組みについて

(5) 「企業対抗チャレンジマッチ」に取り組む事業所の健康づくりを支援

- 対象 3事業所、参加者数 139人
- 目的 従業員の健康づくりと企業の健康経営の初めの一步を支援する
- 期間 平成31年4月～令和2年1月
- 主な内容
企業の従業員に対して生活習慣改善の機会を提供し健康づくりを支援する。
ア 企業対抗チャレンジマッチ（歩数測定、内臓脂肪量測定、生活習慣チェック）
説明会の開催
イ 参加企業への健康づくり出前講座の実施
ウ インタビュー調査

(6) 血圧ポスターの作成・配布

- 対象 医療機関、事業所
- 配布枚数 500枚

(7) 事業所の健康づくり好事例集の作成・配布

- 対象 事業所
- 配布枚数 100枚

(8) 若年期からの生活習慣病予防対策出前講座及び防煙教室

- 対象 管内小中学校
- 目的 健康についての意識を高め、正しい知識を見につける
- 日時 令和元年11月 2回、49人
- 内容 若年期からの受動喫煙及び生活習慣病予防をテーマにした出前講座

(9) 禁煙の飲食店・喫茶店登録事業実施及び登録店舗へ感謝状授与

- 対象：飲食店 10施設（H28～H31に登録した施設）

(10) 糖尿病性腎症重症化予防推進事業

市町における管理栄養士等の保健指導体制の強化支援

- 対象 管理栄養士未配置の医療機関における糖尿病ハイリスク者（国保）
- 目的 糖尿病腎症重症化を予防し指導後の評価も含めた派遣体制を整備する

- 時期 令和元年5月～令和2年3月
- 主な内容
 - ア 関係機関との打合せ 15回
 - イ 管理栄養士等を対象とした研修会の開催 1回
 - ウ 事例検討会の開催 1回
 - エ かかりつけ医と連携したハイリスク者への個別保健指導の実施
対象者10名に各3回実施（30回）

3 母子保健対策

(1) 小児慢性特定疾病事業

小児慢性特定疾患にかかっている児童の医療費負担を軽減するため、公費負担による医療費受給者証の交付事務を行った。16疾患群、対象疾病 756 疾病)

- ア 申請：170 件、届出：38 件 受給者証保持者：141 人（R2 年度末現在）
- イ 長期療養児等家族の情報交換会（中部保健所と共催）
管内参加者：2 名

(2) 思春期健康出前講座

性と性感染症に対する正しい知識の普及を図るため、管内中学生を対象に県立一関高等看護学院学生（コム・サークル）による出前の仲間教育を行った。

- 実施場所等 4 校、参加生徒延 234 人
- ・一関市立東山中学校 7 月 10 日 51 人
 - ・一関市立千厩中学校 9 月 25 日 94 人
 - ・平泉町立平泉中学校 12 月 5 日 64 人
 - ・一関市立巖美中学校 12 月 10 日 25 人

(3) 妊産婦メンタルケア関係者事例検討会（1 回、令和 2 年 12 月 21 日 参加者数 31 人）

産後うつを要因とする虐待や育児不安を防止し、母子の健やかな育成を支援する地域支援体制の充実を図るため、実務者のための事例検討会を開催した。（奥州保健所と共催）

(4) 不妊に悩む方への特定不妊治療支援推進事業

不妊治療の経済的な負担を軽減するため、医療保険が適用されない特定不妊治療（体外受精、顕微授精）を受けたご夫婦に対し、治療費の一部（1 回につき 15 万円、初回治療に限り 30 万円）を助成した。

- ア 特定不妊治療費助成件数：56 件
- イ 男性不妊治療助成件数：0 件

4 歯科保健対策

歯科医師会との共催により、生涯を通じた歯の健康づくりの推進及び専門研修により、口腔ケア

の理解と普及啓発に努める。

(1) **歯科保健医療従事者研修会** (1月22日、30人、一関歯科医師会共催)

(2) **介護予防地域支援専門研修会** (10月1日、33人、一関歯科医師会共催)

(3) **口腔の健康づくり推進事業** 歯の健康教育 (10月23日 79名)

5 精神保健福祉対策

関係機関又は住民からの相談を受けて、精神科医療機関への受療等に係る相談支援や、精神障がい者の通院医療の促進と適正な医療の普及を図るため、医療給付等交付を行う。

(1) 精神障害者警察官通報等にかかる入院措置等

警察官等通報件数：8件（うち措置入院：2件）

(2) 電話・面接相談等

| 電話・面接相談件数 | | | | | | (延件数) |
|-----------|-----|-----|-------|-------|-----|---------|
| 年度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31(R1) |
| 電話・面接 | 242 | 421 | 865 | 917 | 610 | 418 |
| 家庭訪問 | 84 | 119 | 190 | 233 | 146 | 97 |
| 計 | 326 | 540 | 1,055 | 1,150 | 756 | 515 |

ア 精神障がい者家族、当事者及び精神保健福祉ボランティアの活動支援

イ 自立支援医療受給者証（精神通院）の交付、1,575人

ウ 精神障害者保健福祉手帳の交付、1,151人（1級:346人、2級:654人、3級:151人）

(3) 県南地域精神科救急医療体制連絡調整委員会の開催（1回、11月13日）

県南地域の休日・夜間における精神疾患の急変等に円滑かつ適切に対応するため、委員会を設置し関係機関との協議を行った。

| | |
|------|---|
| 構成機関 | 奥州医師会、一関医師会、おとめがわ病院、県立南光病院、希望ヶ岡病院、県立大船渡病院、県立磐井病院、奥州警察署、一関警察署、千厩警察署、大船渡警察署、奥州金ヶ崎町行政事務組合消防本部、一関消防本部、奥州保健所、大船渡保健所、一関保健所 |
| 主な内容 | <ul style="list-style-type: none">・ 県南地域精神科救急・相談等対応状況について・ 各保健所の精神保健福祉相談等実績について・ 県南地域精神科救急医療体制にかかる課題について・ 岩手県精神科救急医療施設における対応実績について・ 岩手県精神科救急情報センターの活動状況について |

6 自死予防対策

新たな「一関地域自殺対策アクションプラン」（計画期間：平成31年度～35年度）の策定を行い、うつや心の健康に関する普及啓発、自死を予防するための早期対応の中心的役割を果たす人材の養成、自死につながる可能性のあるハイリスク者への相談対応等により自殺者の減少を図る。

(1) 推進組織

ア 自死対策推進連絡会議（1回、令和2年2月27日、20人）

| | |
|------|--|
| 構成機関 | 一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、県立南光病院、岩手看護協会、一関市、平泉町、一関消防本部、一関警察署、いわて平泉農業協同組合、一関公共職業安定所、一関労働基準監督署、一関労働基準協会、岩手日日新聞社、一関市社会福祉協議会、一関市老人クラブ連合会、一関市民生児童委員連絡協議会、一関市行政区長会連絡協議会、平泉町保健推進員、地域活動支援センター一関、県南教育事務所、岩手県精神保健福祉センター、岩手県精神保健福祉協会、岩手県介護老人保健施設協会、りんどうの会 |
| 主な内容 | <ul style="list-style-type: none"> 一関地域の自死者の状況について 一関地域こころの健康づくりプランについて |

イ 自死とうつに関するケアネットワーク会議（3回、89人）

ウ こころの健康づくり事業担当者連絡会（3回、26人）

(2) 普及啓発事業

ア 予防月間（9/1～30）垂幕掲示

イ 自殺対策強化月間における「一関地域「こころの安全週間」

R2年3月10日～3月16日：工房てんとう虫他オリジナルポスター作成・掲示

ウ 事業所出前講座 6回、計 201人、事業所訪問 5ヶ所

(3) 人材育成

ア こころのケアナース養成セミナー（9月18日、43人）

イ こころのケアナーススキルアップ研修（2月26日、38人）

こころのケアナース養成者数年次数推移

| 年度 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 人数 | 37 | 42 | 38 | 51 | 64 | 58 | 54 | 43 | 387 |

※ こころのケアナースは、医療機関、福祉施設、教育機関等の職員で、本人の話を聴いて傾聴し、必要に応じて医療機関や相談窓口担当者に繋げる役割をする方です。

ウ 自傷行為の理解と援助スキルアップ研修会（8月7日、48人）

エ 自死とうつに関するケアネットワーク会議における研修（3回、89人）

オ 精神保健福祉及び傾聴ボランティア活動支援研修会（3月19日、35人）

(4) ハイリスク者及び自死遺族への支援

- ア うつ、自殺未遂、自死遺族等への相談対応 R1：31件（面接電話394件、訪問6件）
- イ 自死遺族交流会 ころろサロン一関（6回、実5/延7人）、

7 ひきこもり対策

ひきこもり者の社会参加を促進するため、当事者や家族等への相談支援等を行う。

(1) ひきこもり当事者・家族の居場所「フリースペースひだまり」の開催

（年間18回実施、参加延：当事者8人、家族67人）

(2) ひきこもり者の家族を支援する家族教室（年2回実施、参加延67人）

(3) ひきこもり支援者研修会・事例検討会（令和元年12月25日 参加者数27人）

8 依存症対策

地域のアコール依存自助グループ等への支援

アルコール家族教室：年間12回、参加者延70名

9 難病支援対策

平成27年1月から難病の患者に対する医療等に関する法律が施行され、特定疾患患者（5疾患）及び難病医療費助成制度対象疾患の患者に医療給付や患者等の支援を行った。

(1) 医療給付申請受理（新規139件、転入6件、更新申請970件）

受給者証の交付（平成30年度末所持者1,051名）

(2) 難病患者地域支援ネットワーク事業

ア 在宅難病患者の家庭訪問(1件)

イ 医療相談会・家族交流会等（令和元年10月30日、4人）

ウ 難病対策地域協議会（新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関への資料送付のみ）

| | |
|------|---|
| 構成機関 | 難病患者・家族等（随時選出）、独立行政法人国立病院機構岩手病院、一関市国民健康保険藤沢病院、岩手県立磐井病院、岩手県立千厩病院、両磐ブロック高齢者福祉協議会、両磐地区在宅介護支援センター協議会、訪問看護ステーション協議会 県南Aブロック、岩手県難病団体連絡協議会、一関市保健福祉部福祉課、一関市保健福祉部健康づくり課、平泉町保健センター、岩手県一関保健所 |
| 主な内容 | ・特定医療費（指定難病）受給者の状況について ・特定医療費（指定難病）申請者を対象に実施した療養生活に関するアンケートの結果について |

10 結核予防対策

結核患者の適正な医療の確保をするとともに感染の蔓延防止のため、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、積極的疫学調査の実施、就業制限、入院勧告、感染症診査会の開催、患者家族や接触者等を対象とした接触者健康診断を実施し、患者の適正な医療を確保、結核の二次感染予防など早期発見に努めている。

(1) 登録患者数の推移

(人)

| 年度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 結核新登録患者 | 13 | 14 | 16 | 6 | 12 | 12 |
| 潜在性結核患者 | 1 | 8 | 14 | 2 | 5 | 3 |

(2) 感染症診査協議会の開催：20回、入院医療8件、通院医療23件

(3) 結核接触者健康診断：保健所実施186件、病院委託18件

(4) 直接服薬確認支援 (DOTS)

直接服薬確認支援件数 (年度/件数)

| 年度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 対象ケース | 23 | 30 | 29 | 19 | 11 | 22 |
| 延支援件数 | 64 | 109 | 94 | 78 | 70 | 67 |

(5) 結核管理健診：病院委託25人

(6) 結核に関する健康教室(出前講座)の開催：8回、150人参加

11 感染症予防対策 (結核以外)

(1) 感染症発生に伴う疫学調査及び保健指導

感染症の蔓延防止、原因究明のための調査

○腸管出血性大腸菌感染症3件、レジオネラ2件、インフルエンザ(集団感染)3件、感染症胃腸炎(集団感染)14件

(2) 感染症に関する健康教育

感染症の発生予防及び感染拡大を防止するため施設等の職員を対象に研修会を開催した。

ア 乳幼児施設：8月28日、参加者24人

イ 高齢者施設：7月31日、参加者25人

ウ 事業所の出前講座：8回、参加者165人

12 エイズ・性感染症予防対策

エイズ・性感染症の蔓延を未然に防止するため、エイズ相談窓口の設置、HIV抗体検査（迅速検査を含む）や世界エイズデーにおける啓発活動、肝炎治療促進事業等に取り組んだ。

(1) 抗体検査（血液検査）の実施状況

| | HIV | 性器クラミジア | 肝炎 | 梅毒 |
|------|--------|---------|----|----|
| 実施回数 | 14 (2) | 12 | 12 | 12 |
| 件数 | 38 (3) | 25 | 33 | 26 |

※（ ）内は、迅速検査の実施数

(2) 世界エイズデーの普及啓発

- ア 世界エイズデー（12月1日）前後1週間のレッドリボンツリー等の設置
設置場所 JR一関駅構内、一関合同庁舎内
- イ 保健所職員によるレッドリボンの着用

(3) 肝炎治療促進事業

B型・C型肝炎治療に係る医療費助成 申請受理件数72件、償還払0件

13 新型インフルエンザ等対策

新型インフルエンザ、高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えるため、感染症発生動向の把握、防護服、消毒薬等の必要物品の整備、迅速で適正な行動がとれるよう患者搬送訓練等に取り組んだ。

- (1) 新型インフルエンザ患者搬送訓練：1回(10月18日)、参加者47人
- (2) 新型インフルエンザ発生に備えたアイソレーター、患者輸送車操作説明会
：1回 参加者11人
- (3) 新型、鳥インフルエンザ防護服着脱訓練：2回 参加者21人

14 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が中国で発生・拡大し、更に国内でも感染者が確認されたことから、情報の共有と今後の感染対策を図るため、会議を開催するとともに、帰国者・接触者外来及び帰国者・接触者相談センターを設置した。

(1) 会議

- 令和元年度一関保健所感染症対策連絡会議：令和2年1月30日、出席者23名
- 両磐圏域感染症対策連絡会議：令和2年2月25日、出席者44名
- 両磐地域医療関係者ブリーフィング：第1回 令和2年3月17日、出席者16名
第2回 令和2年3月24日、出席者17名

(2) 医療・相談等体制整備

- ア 帰国者・接触者外来の設置
- イ 帰国者・接触者相談センターの設置